



黒岩 H氏賞とかとっているのに、「抒情文芸」の詩の欄に投稿していたんだ。

幸綱 この間、東京新聞の俳壇でも、入選していた。「今回、特選、おめでどう」ってメールしたよ（笑）。小澤實の特選だったと思う。

黒岩 不思議な人なんだ。投稿マニアじゃないけど。

幸綱 お高くとまるところがないというか、エリート意識のない独特のキャラだね。本当に安い給料で「心の花」の表紙を毎年作ってもらっている。全部版画です。

何度か、「心の花」の全国大会に来てくれたって言っているんだけど、なかなかシャイで、来なくて（笑）。岩佐君と「古歌を慕う」の森朝男君は、全国大会では毎年呼んでるんだけど、なかなか来てくれない。黒岩 森さんは熱海のとき来てくださったり、たまにね。

幸綱 さあ、そろそろ始めましょう。

高山 あ、そうですね。今日はあんまり進んでないんです。『反歌』とか『金色の獅子』の歌集の話までは行きたいんですけど。

幸綱 「朝日の旅」の話と、塚本邦雄さんが来てくれた広島での全国大会の話、前川佐美雄さんの葬儀の話くらいまで行くんじゃないかな。

高山 では、とりあえず頑張っていきましょう。やはり歌集は今日一番のテーマなので。そういう話につながっていけばいいと思います。

▽佐佐木信綱の顕彰

高山 では、後半の話題は「信綱顕彰歌会」に初めて参加、この年から毎年参加（88年12月）ということ。

幸綱 ここにいる皆はあまり関係ないかもしれないけど、「信綱顕彰歌会」という会が石薬師にある。佐佐木信綱は三重県の鈴鹿市石薬師に生まれています。昔の人だから

らふるさとのことをずいぶん大事にしました。ふるさとの人も信綱のことを非常に大事にしてくれているわけですね。鈴鹿の出身者として、イオンの岡田卓也名誉会長も鈴鹿出身ですね。いや、岡田市だね。

同じく三重県だということ、岡田さんが金を出してくれて、「信綱かるた道」といって、旧東海道沿いに信綱の歌を書いたわら半紙二枚分くらいの大きさの看板を五十枚作って、二百メートルぐらいの間隔かな、次々と読みながら歩けるような道を作ったりしてくれた。旧東海道を歩くツアーが行っているから、けっこう見てくれているらしい。鈴鹿市の信綱顕彰会に岡田さんのところが金を出してくれたと聞いている。

黒岩 それは知らなかったなあ。鈴鹿と岡田さんとの関係とか。

清水 学校で何かやってるんですか？幸綱 「信綱かるた」を作ったらどうかと僕が提案した。もう三十年ぐらひ昔かな。

宮崎県が「牧水かるた」というのを作って、子どもたちに牧水の歌を暗記させたりしている話を伊藤一彦君経由で知って、それがもたになって。石薬師の人にこういう話がありますよと宮崎の話をしたら、石薬師の人が「信綱かるたを作りました」ということになった。信綱の歌を五十首かな、かるたにして、学校で子どもたちに教えた。